

～もも生産者の皆様へ～

# モモせん孔細菌病防除に取り組みましょう！

「モモせん孔細菌病」の発生がもも生産者の皆様の悩みの種となっています。  
せん孔細菌病は薬剤のみによる防除が難しく、防除には**総合的な防除**が必要です。

**総合的な防除** = 薬剤散布 + **耕種的な防除** (風対策・枝病斑のせん除等)  
新しい防除対策はない！今ある対策をそれぞれ徹底！！

## せん孔細菌病とは？

**特徴1** 病原菌は細菌。防除が難しい。 **特徴2** 風の強い場所で発生が多い。 **特徴3** 雨で増加。



果実被害



葉の発病



早期落葉

## せん孔細菌病の発生生態と総合的な5つの防除ポイント

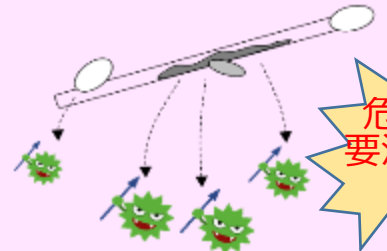
**ポイント①** 風対策で感染しにくい環境に  
(耕種的防除)

**ポイント②** 春型枝病斑をせん除して  
初期の伝染源量を減らす  
(耕種的防除)

**ポイント⑤** 秋季防除で越冬量を減らす  
(薬剤防除)



秋：芽基部に感染

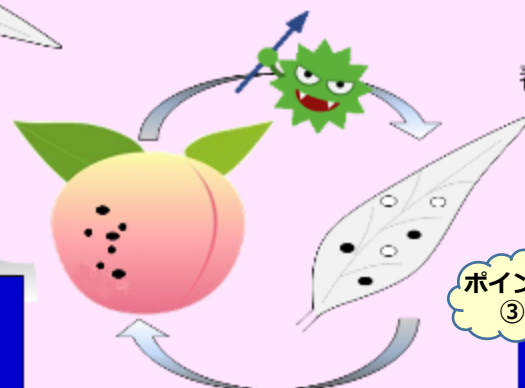


春：春型枝病斑から飛散

危険！  
要注意！！

**ポイント④** 有袋栽培で  
果実を守る  
(耕種的防除)

**ポイント③** 生育期防除で  
果実と葉を守る  
(薬剤防除)



春～夏：葉や果実で二次伝染

# 防除ポイントの解説

## 風対策（防風ネットの設置）

風当たりの強い風上方向に、2面以上に設置すると効果的です。

（強風に耐えられる強度が必要です。）



防風ネット

## 春型枝病斑のせん除

特に重要！

4月中旬頃から春型枝病斑が見られるようになります。6月末までダラダラと発生することがありますので、定期的にせん除しましょう。せん除した枝は、園外に持ち出し、適正に処理（埋却、焼却等）しましょう。

開花前～5月の  
早期せん除を徹底しましょう！



↑ 病斑の位置

---- せん除の位置。せん除するときは健全な芽を複数含めましょう

## 薬剤散布

【開花始期～秋季までの重要防除時期（地域の防除暦に基づいて実施）】

必ず行いましょう！

開花始期	IC ボルドー412 散布（30 倍液）		
落花直後～	・抗生物質剤の散布 表 せん孔細菌病に効果が高い抗生物質剤の紹介		
	※農薬名	モモに対する適用登録	使用上の制限
	アグレプト水和剤	収穫 60 日前まで 2 回以内	ネクタリン混植園では使用できない 極早生混植園では5月中旬まで
	アグリ マイシン-100	収穫 60 日前まで 2 回以内	ネクタリン混植園では使用できない 極早生混植園では5月中旬まで
	マイコシールド	収穫 21 日前まで 5 回以内	極早生混植園の場合 6 月上中旬まで
	※令和3年3月現在の登録内容		
	・袋掛け		
9月中旬～	IC ボルドー412 散布(30 倍液、2 週間ごとに2～3回)		

収穫後、必ず  
行いましょう！

長野県園芸作物生産振興協議会（うまいくだもの推進部会）

事務局：長野県 農政部 園芸畜産課 果樹・花き係

TEL:026-235-7227 FAX:026-235-7481 E-mail:enchiku@pref.nagano.lg.jp